

広島高速5号線シールドトンネル工事の進捗状況等について

1 要旨・目的

広島高速道路公社が事業を進めている広島高速5号線のシールドトンネル工事の進捗状況等について報告する。

2 現状・背景

シールドトンネル工事については、牛田地区の住宅地区間の掘削が完了し、引き続き牛田地区において地表面変位の抑制などの対策を取りながら慎重に工事を進めている。

また、費用負担等に係る契約変更の内容について、受注者から公社に対し、中央建設工事紛争審査会に調停申請した旨の連絡が令和4年12月5日にあった。なお、公社及び受注者ともに、これまでと同様に安全・安心を第一として早期完成を目指し工事を継続していくこととしている。

3 概要

(1) 対象者

—

(2) 事業内容（実施内容）

ア 牛田地区におけるシールドトンネル工事の掘削状況

シールドトンネル工事延長約1,400mのうち、今月5日時点で約1,000m地点に到達しており、牛田地区としては残り約80mとなっている。なお、先月11日から今月2日までは、計画カッター交換やマシンのメンテナンスを実施した。

地表面変位については、マシンに近接する計測点(UL1-1)において、先月から今月は-0.9mm~-1.2mmで推移しており、引き続き変動を注視していく。

イ 騒音・振動への対応

騒音・振動の影響については、住民からの申し出は少なくなっているが、引き続き、必要に応じて柔軟に対応していく。



(3) スケジュール

—

(4) 予算（単県）

令和5年度の広島高速道路公社出資金・貸付金については、国の無利子貸付金の予算措置がなされなかったため、当初予算650百万円を2月定例会補正予算案において減額する。

(5) 今後の対応

引き続き、地表面変位等を注視しながら安全・安心を第一に掘削を進めるとともに、住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう、事業主体である公社や広島市と連携し、適切かつ丁寧な対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。